

# 勇気を持って飛び込んでみてください！

2010年度 博士前期課程修了生 杉岡真里さん



総合学術研究科の“文理融合”って、どんなことを学ぶの？

薬と心理と一緒に何か研究するような新しい授業科目があると思ったんですが、それはなかったです(笑)  
「文・理に偏らず総合的に学んで、出来事を俯瞰できる力を得よう！」みたいなイメージですね。

文系の私にとって、理系の最先端の話を知れたのは、とってもよかったです。  
新聞に出たりすると、「私、これわかるよ！」って自慢しています♪

総合学術研究科はアットホームで幅広い知識と交流ができる研究科です。  
『文理融合』という研究科理念が素敵だなと感じ、進路を選択しました。私は心理学分野の専攻だったのですが、まさか研究科に入って高校以来の理系分野の勉強をするとは思っていませんでした。

一方で、自分自身の研究に対しては探究すればするほどあっちにもこっちにも素敵な素材が転がっており、研究が迷子になることもありました。そのような時は先生方が親身になって相談に乗って頂きました。本当に心強く感じながら研究ができました。

**大学院は、自分が何を持って入って、出口はどういう風になりたいかという  
セルフプロデュースをきちんとやっていかないと難しい！**

同じ研究科の院生として、社会人入学をされた方のお話をうかがえたことは、自分を見つめなおす良いきっかけになりました。  
志が高い仲間恵まれ、世代を超えた交流ができたことが何より宝物です。

楽しくも苦しくもあった院生時代を支えてくれたのは、先生や仲間、学務センターの方たち！  
卒業して数年たちますが、今でも時折研究科にお邪魔をしています。

総合学術研究科での学びを通して、どんな分野にも飛び込んでいく勇気と探究心を得ました。  
社会人になっても、それは私の強みです。

**みなさんも、総合学術研究科へ飛び込んでみてください！！**

文系学生だった杉岡さん。理系科目は難しくなかった？

先生をひたすら質問攻めにしました。「なんでこうなるんですか？」って！  
でも、理系の先生方はとても誠実に対応してくれました。

それから、総合学術研究科では、異分野の先生も論文指導をしてくださるんです。  
理系の分野から心理学にアプローチした資料をたくさんくれたり！  
楽しみながら、異分野の視点を取り入れられましたよ♪

思い出に残っている授業や行事はある？

総合学術研究科と言えば、年2回の「総合コア」！  
専門分野の違う院生・教員が集まって、研究発表(研究の中間発表)を行うんです。

正直、やめて欲しい科目ですよ！質問の集中砲火を受けるから(笑)  
でも、たくましくなれたかな。授業の準備は大変だけど、社会に出れば、そんなものはいくらでもあるわけですね！  
何と言っても、終わった後の開放感は捨てがたいな！

